

《沿革》

| | |
|-----------|--|
| 明治37年3月 | 「大阪図書館」開館 |
| 明治39年12月 | 「大阪府立図書館」と改称 |
| 昭和25年8月 | 「天王寺分館」開館 |
| 昭和49年3月 | 「天王寺分館」廃止 |
| 昭和49年4月 | 「大阪府立図書館」を改組、旧本館を「大阪府立中之島図書館」に改称 「大阪府立夕陽丘図書館」発足 |
| 昭和56年3月 | 「大阪文化問題懇話会」の提言 |
| 平成元年2月 | 「新府立図書館建設基本計画策定委員会」の報告 |
| 平成2年度 | 「新府立図書館基本設計」策定 「新府立図書館システム基本設計報告書」策定 |
| 平成4年度 | 「新府立図書館実施設計」策定 |
| 平成4年11月 | コンピュータシステム開発着手 |
| 平成5年1月 | 建設工事着手 |
| 平成7年9月 | 建設工事竣工 |
| 平成8年3月 | 「大阪府立夕陽丘図書館」廃止、特許関係資料を商工部へ移管 |
| 平成8年5月 | 「大阪府立中央図書館」発足 |
| 平成8年5月10日 | 「大阪府立中央図書館」開館 |
| 平成13年7月 | 大阪府立図書館ホームページ開設（Web-OPACの公開等） |
| 平成22年5月5日 | 大阪府立中央図書館内に「国際児童文学館」開館 |

《一年のあゆみ》 平成30年度

| | |
|--------|---------------------------------|
| 6月18日 | 大阪府北部地震(休館日)、軽微な被害はあれど当日中に復旧 |
| 7月1日 | 中央図書館所蔵雑誌の協力貸出(試行)開始 |
| 7月27日 | 平成30年7月豪雨の被災住民に対する利用者登録を開始 |
| 7月28日 | 台風12号接近、東部大阪地域暴風警報発令により臨時休館 |
| 8月11日 | 「手話落語」をはじめて開催 |
| 8月23日 | 台風20号接近、東部大阪地域暴風警報発令により臨時休館 |
| 9月4日 | 台風21号接近、東部大阪地域暴風警報発令により臨時休館 |
| 9月19日 | 平成30年北海道胆振東部地震の被災住民に対する利用者登録を開始 |
| 9月30日 | 台風24号接近、東部大阪地域暴風警報発令により臨時休館 |
| 11月3日 | 「見て、聴いて、さわって楽しむ読書の世界」をはじめて開催 |
| 12月14日 | 来館者アンケート実施(～12月24日まで) |
| 12月28日 | 図書館情報システム機器の更新(～1月4日) |
| 1月4日 | 『日本十進分類法新訂10版』の導入 |
| 2月1日 | 中央図書館所蔵雑誌の中之島図書館への貸出本格実施 |
| 2月1日 | 教職員ポータルサイトでの教職員への予約多数本の寄贈呼びかけ開始 |
| 3月11日 | 中之島図書館所蔵雑誌の中央図書館への貸出(試行)開始 |
| 3月26日 | 遠隔地返却の試行開始(府内7市町) |